



みらいへつなごう ～ちょうふのかんきょう～

ねんどぼん
2023年度版
2024年3月発行
かんこうぶつとうろくばんごう
刊行物登録番号
2023 - 185

- 発行：調布市環境部環境政策課
 - 連絡先：電話 042-481-7086 (直通) FAX 042-481-7550
メールアドレス kankyuu@city.chofu.lg.jp
- ※市のホームページでも環境情報を提供しています。



この情報誌は、小・中学生のみなさんに、調布市の環境をよりよく知っていただくことを目的に作成しています。

喫煙マナー・都市美化&地球温暖化防止啓発ポスター・標語 優秀作品を決定しました

みなさんは、もし、歩きタバコやポイ捨てをしている大人を見たらどんなことを感じますか？

また、最近さわがれている、地球温暖化について、何か考えたことはありますか？

調布市では、「喫煙マナー・都市美化&地球温暖化防止啓発ポスター・標語」を毎年募集しています。

今回も、小・中学生のみなさんを中心に、ポスター56点、標語9点もの多くの応募をいただきました。

応募作品は、令和6年1月17日(水)から1月25日(木)まで、文化会館たづくり11階みんなの広場で展示しました。そして、来場したみなさんなどの投票を集計した結果、下に掲載しているとおり優秀作品を決定しました！

啓発ポスター・標語展の告知チラシ



喫煙マナーポスター部門 優秀作品
調和小学校5年生



地球温暖化防止啓発ポスター部門 優秀作品
石原小学校6年生

喫煙マナー・都市美化標語部門 優秀作品
『落とさない ゴミもタバコも わがまちに』

地球温暖化啓発標語部門 優秀作品
『お出かけは 電車とバスの 二刀流』

応募してくれたみなさん、展示会に来てくれたみなさん、ありがとうございました。

令和6年度も実施予定ですので、まだ応募したことのない方は、ぜひチャレンジしてください。お待ちしております。

ちょうふしたまがわしぜんじょうほうかん

調布市多摩川自然情報館に遊びに来ませんか

調布市多摩川自然情報館は、多摩川を中心とした市内の自然環境を紹介する、子どもから大人まで楽しく学べる環境学習施設です。

土日祝日は解説員がいますので、自然環境についてわからないことがあったら聞いてくださいね！



多摩川自然情報館

入館無料です！



情報館近くの多摩川の様子

館内には多摩川の魚や植物、昆虫などの実物が見られる展示室、自然環境に関する本をそろえた学習室があります。



学習室の様子



展示している魚類の様子

多摩川や調布の環境について楽しく学べるイベントも随時開催しています。



魚観察会の様子



昆虫採集の様子

情報館のユーチューブチャンネルを開設しました

情報館で行ったイベントの様子や市内の自然や生きものの様子を配信しています。



情報館 YouTubeへ

情報館内を探検できるバーチャルツアーを体験できます



情報館バーチャルツアーへ

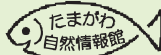
X (旧ツイッター) でも発信してるよ！

市内を中心とした自然環境に関する小話等、中の人々がゆるゆる〜〜〜くつぶやきます。



情報館ツイッターへ

ちょうふしたまがわしぜんじょうほうかん
調布市多摩川自然情報館



所在地: 調布市染地3-8-26

開館時間: 午前9時～午後5時(土・日、祝日も開館しています。)

【お問い合わせ】

- 当館運営受託事業者 (株)セルコ 03 - 3406 - 1724 (平日: 午前10時～午後5時30分)
- 当館携帯電話 080 - 2087 - 9009 (土・日、祝日(年末年始を除く): 午前9時～午後5時)
- 調布市環境部環境政策課 042 - 481 - 7086 (平日: 午前8時30分～午後5時15分)

公共交通機関, 自転車をご利用ください。(駐輪場があります。)

●交通アクセス

調布駅南口バス乗り場

- ④「多摩川住宅西」行き(調45・46系統)に乗車
- 「桜堤通り」下車徒歩約2分(約0.1km)

【MAP】



生物多様性について学んでみよう！

～わたしたちに豊かさを与えてくれる生物多様性って何だろう？～

生物多様性とは

生物多様性とは「生き物たちの豊かな個性とつながりのこと」です。

地球上では40億年という長い歴史の中で、3,000万種ともいわれる生き物が生まれました。これらの生き物は、お互いにつながりあい、支えあってバランスを保ちながら生きています。

このバランスから、わたしたちは豊かな土やきれいな水、空気、安定した気候などの自然の恵みをもたらしているのです。

生き物の3つの多様性

生物多様性には、「生態系の多様性」、「種の多様性」、「遺伝子の多様性」の3つがあります。

①生態系の多様性とは

樹林地や草地、河川、水田など、さまざまなタイプの自然があることです。



樹林地



草地



河川



水田

②種の多様性とは

植物や鳥類、魚類、昆虫類などの動物、キノコなどの菌類といったさまざまな生き物があることです。



魚類（オイカワ）



植物（クズ）



鳥類（カワセミ）



昆虫類（シオカラトンボ）

③遺伝子の多様性とは

同じ種であっても、形や模様、生態が異なるなど、遺伝子のレベルで様々なちがいがあることです。



遺伝子のちがいで色々な個体がいるナミテントウ

生物多様性を守るためにわたしたちができること

- 多くの生き物がこれからも暮らしていけるように、自然環境を大事にしていきましょう。
- 自然体験の中で感動したことや興味を持ったことを、写真や絵、文章などで伝えてみましょう。
- エコラベルなどが付いた、環境や生態系にやさしい商品を選んでみましょう。



多摩川の四季

多摩川は、春には菜の花をはじめとする春の花が咲き乱れ、河川敷が鮮やかに彩られます。

夏には、春に遡上して大きく育ったアユや繁殖期を迎えたオイカワ、ウグイを見ることができます。

秋には、秋風にたなびくオギや秋の七草の一つでもあるクズなどの植物が目立ちます。

冬には、ヒドリガモをはじめとするカモ類が、越冬のため訪れます。



ヒドリガモ



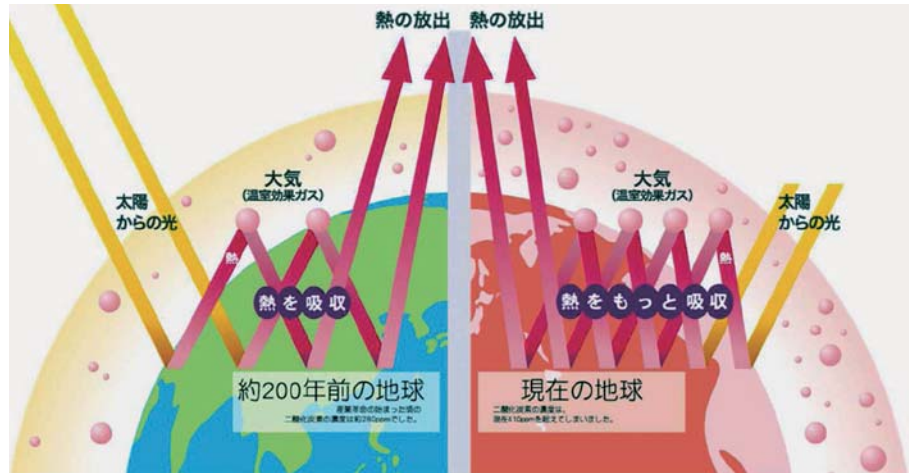
アユ

みなさんは、地球温暖化を知っていますか？

地球温暖化が起こる仕組み

地球では、太陽が地面を暖めて、その熱を、大気中にある二酸化炭素などの「温室効果ガス※1」が吸収し、大気も一緒に暖めることで、生命が育まれる環境ができています。

ところが人類が、石油やガス、ガソリンなどの化石燃料※2を燃やすことで「地球温暖化」が進んでいます。これは、生命にとって危険な猛暑日※3や集中豪雨などが増え、生物多様性が失われる原因となっています。



出典 全国地球温暖化防止活動推進センター

- ※1 二酸化炭素を代表とする、温室のように地球を暖める効果を持った気体のことです。
- ※2 大昔の動植物が深い地中で変化してできた燃料のことです。効率よくエネルギーを取り出せるため、人類の生活を便利にしましたが、大気中の二酸化炭素を増やしてしまいます。
- ※3 1日の最高気温が35℃以上になる暑い日のことです。

地球温暖化を防ぐには

「二酸化炭素」を増やさないことで地球温暖化を抑えることができます。

例えば、寒い時はきちんと厚着をして暖房の設定温度20℃に抑える、テレビはつけっぱなしにしない、環境に優しいことを証明する「環境ラベル」のついた製品を選ぶなどを実行するとよいでしょう。

ほかにもいろんな環境に良い取組を探してみてください。



出典 気象庁 平成23年7月新潟・福島豪雨により晒川が越流



出典 環境省

環境ラベルの一例

適切な森林管理の推進がされていることを表すマーク。このマークはピエロのキャラクターで知られるファーストフードや人魚のロゴで知られるコーヒーチェーンのカップにあります。

コラム

調布市には、市の環境をよくしようと頑張っているキャラクターがいます。地球温暖化対策啓発キャラクター「ゴヤたん」とごみ減量・リサイクルキャラクター「リサッチョ」を紹介します。

ゴヤたん



高さ：ゴーヤくらい
重さ：ゴーヤくらい



グリーンカーテン※を作るときの代表的な植物、ゴーヤをモチーフにしています。

ゴーヤが熟れて黄色くなったバージョンの「完熟ゴヤたん」もいます。

※建物の壁や窓の外側を緑で覆うことで、夏の日射しを遮って、室内の温度を下げることができ、節電や地球温暖化防止にもつながります。

リサッチョ



調布市内のごみ減量・リサイクルを推進していくため、市内大学に協力をもらい誕生しました。ごみを分別しない世界から来た「子ども用ロボット」で、調布市のごみ対策について、もっと知りたくてやってきました。リサイクルのリサと調布市のチョが名前の由来です。